

2011年（平成23年）

ハタハタ情報 No.1

平成23年9月16日発行

中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

－後日にインターネットからもご覧いただけます－↓

マリネット北海道 : <http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/central/index.html>

水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査期間】 2011年9月13日～9月14日

【調査海域】 雄冬岬沖の水深220～280mの海域にて、6調査点でトロールを曳網しハタハタの採集試験を行いました。計66尾（0歳魚を除く）の標本を採集し、体長測定などを実施しました。

- 採集状況は1マイル曳網あたり平均6.3尾と少ない。
- 体長160mm以下の1歳魚（2010年級）が全体の約76%を占める。
- 2歳魚の体長は例年と比べ小さめ。1歳魚の成熟状態は遅めで進行。

1. ハタハタの分布状況（図1）

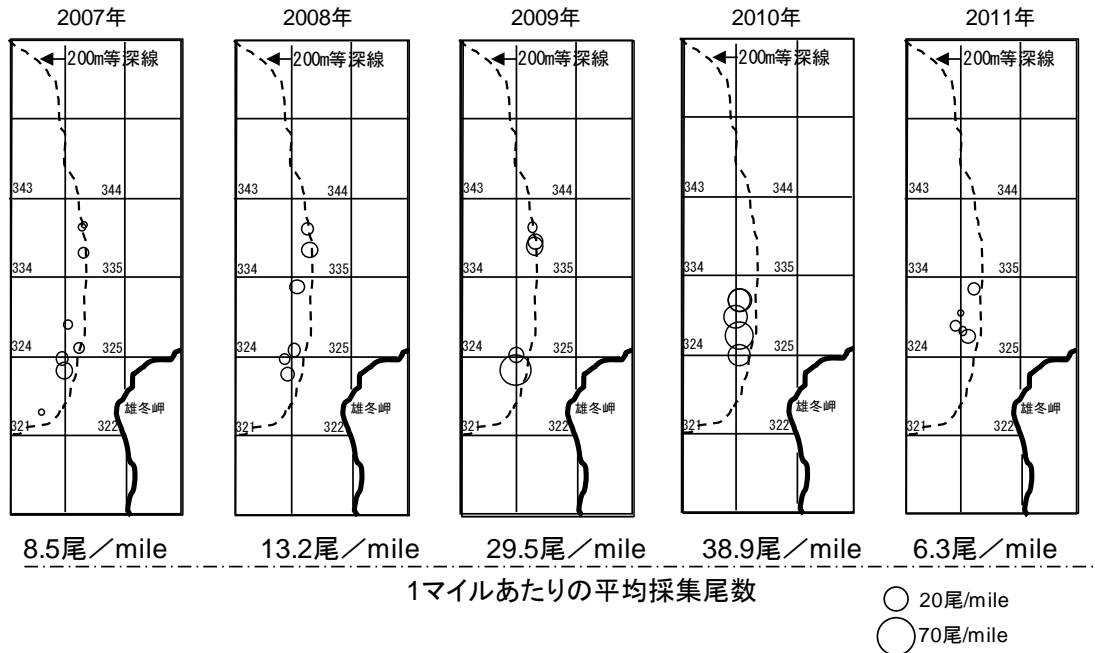


図1 9月トロール調査による採集尾数（注：2009年までは中央水試おやしお丸による調査結果。調査時期が今回より2週程度遅い）

今回の6調査点におけるハタハタの平均採集尾数は1マイルあたり6.3尾と、近年では最も少ない採集状況となりました。230～260m付近、底層水温2℃台で採集されましたが、各調査点で採集尾数は昨年同時期を大きく下回りました。

2. ハタハタの魚体サイズと年齢（図2）

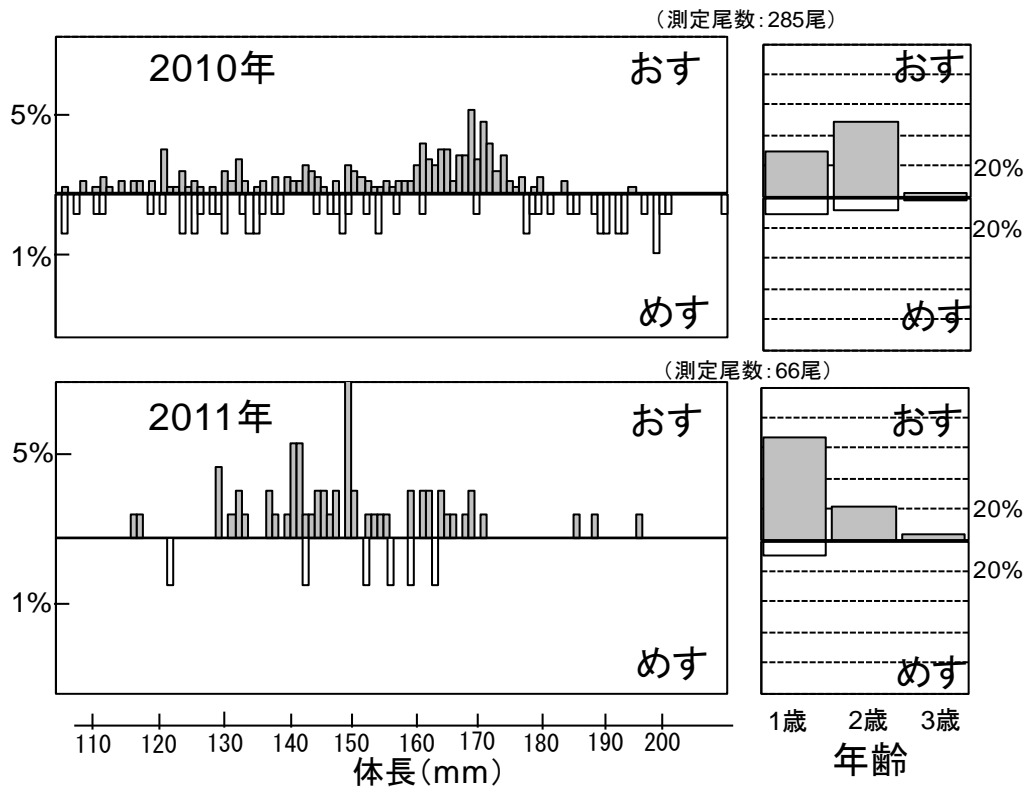


図2 今回の調査で採集されたハタハタの体長組成と年齢組成
上段図：昨年（2010年）調査 下段図：今回の調査

今回の調査で採集されたハタハタは、雄で体長 130～170mm の範囲が中心となっており、160mm 以下は 1 歳魚（2010 年級群）、160～175mm は 2 歳魚（2009 年級群）でした。1 歳魚の体長は例年並みですが、2 歳魚の体長は、昨年 1 歳時にみられた傾向と同様に例年より小さめでした。なお、雌の採集は少なく、採集された 6 個体はいずれも 1 歳魚でした。1 歳魚の占める割合は雌雄合わせて 76% となり、今のところ今漁期に漁獲対象となるハタハタは小型魚主体になる見通しですが、今後の調査動向を注視する必要があります。

3. 成熟状態（図3）

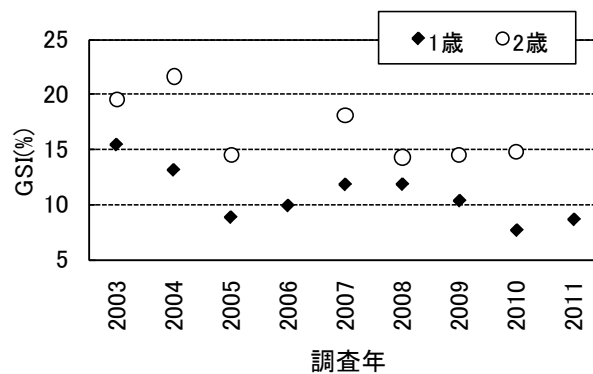


図3 毎年9月下旬のハタハタ雌のGSI (GSI=卵巣重量/内蔵除去重量×100)

ハタハタは成熟状態（生殖巣の発達状態）が進むにつれ、南下し沿岸にて産卵することが知られています。雌の体重に占める卵巣重量の割合（GSI）は産卵が近づくにつれて大きくなり、沿岸に来遊する頃には40前後の値となります。今回得られた標本のうち成熟状態にある雌個体のGSIに基づき、これまでの調査結果と対比するため9月末時点の値として推定し図3に示しました。1歳魚の成熟状態は前年並みで、近年の中では遅めに進行していると考えられます。なお、2歳魚については雌の採集が無かったため示しておりません。次回10月のトロール調査結果に基づき、沿岸への来遊時期の見通しを検討する予定です。

4. 水温（図4）

今回の調査の中で行ったCTDによる雄冬沖（321漁区北側～325漁区南側の範囲）の表層から底層にかけての水温測定結果を、昨年同時期の値と併せて示しました。表層から25m付近までは、猛暑となった昨年より低めとなっていますが、それより150m付近までは昨年よりは高めの水温となっています。ハタハタの分布する底層付近では前年、あるいは例年の傾向と大きな違いはありませんでした。

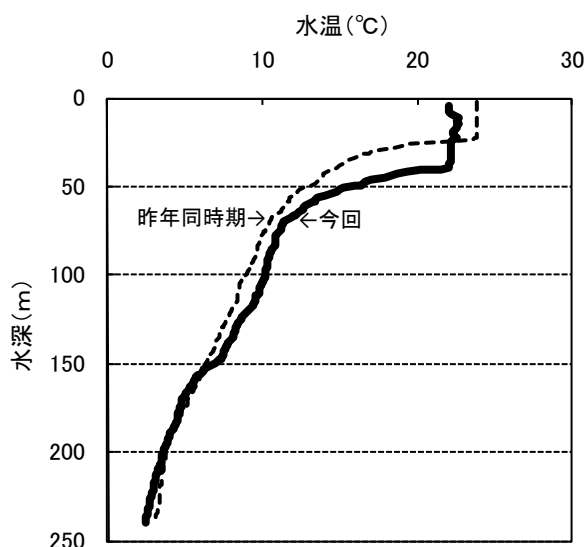


図4 雄冬沖の水温分布

5. 今後の調査など

次回の北洋丸によるトロール調査は、10月中～下旬に、雄冬沖のハタハタ分布域を含め実施します。付近の海域で操業中の漁業者の皆様には何卒ご配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、漁期中には漁獲物標本の採集調査も実施いたしますので、重ねてご協力をお願いいたします。